



高槻171工場

# 培つたカーボン加工技術で、 新規事業にも挑戦

納期相談  
コスト相談  
試作可  
小ロット  
量産対応

## 業務内容 カーボングラファイトの 切削加工で高い技術

工業用カーボングラファイトの精密切削加工やカーボン断熱材の製造を行う。カーボングラファイト製品は燃料電池や電気自動車用モーターなどの材料として注目されている。同社は昭和36年にモーター用カーボンブラシの製造で創業、翌年に設立して以降、航空機や自動車、家電などの各業界にカーボン製品を供給する。CFRP（炭素繊維強化プラスチック）製品や特殊炭素製品なども手がける。これまでの多くの切削加工を通して、技術開発力を高めてきた。航空機などの先端産業では試作品の段階で関わるなど豊富な実績を有する。

## 強み カーボン断熱材で独自の ポジション

カーボングラファイト製品は導電性や耐熱性に優れていることから、その特性を生かしてさまざまな製品が生み出されている。精密部品にも同製品が使用され、同社は長年培ってきた技術力を武器に、求められる高度な品質に対応している。

また、日本のカーボン加工業者は取扱いが少ないカーボン成形断熱材分野も扱う。加工を内製化する断熱材メーカーが多い中、同社は高い技術力を背景に大手メーカーと長年協力してカーボン成形断熱材の加工工程を担う。熱処理分野などで同断熱材の需要は高まっており、加工技術にさらなる磨きをかけていく。

## 規開 カーボン素材の調理器具、 BtOC分野に展開



グラファイト製品

カーボンポット

## 今後の展望 大型3Dプリンターを導入 新規事業を立ち上げ

今後は、設備の充実をさらに進めていく。まず、品質管理という面では、従前より従業員の取り組みや目標をチェックする「品質決算会議」を年4回開催しているが、最新の測定器などを導入し、最新設備との組み合わせで品質保証体制の強化を図っていく。

また大型の3Dプリンターを導入し、同社が培ってきた加工技術の知見を生かすため、アミューズメント施設に設置する大型の樹脂成形品などを手がけつつ、並行して積極的な異業種交流もを行い、新規事業の立ち上げを進めていく。

はBtOC製品も生産する。「ANAORI CARBON KITCHENWARE」と名付けた調理器具は、純度99.9%のカーボングラファイトを削り出した製品だ。鍋やグリルなど料理に合わせたさまざまな形状の製品をそろえる。

カーボングラファイト製の鍋は熱伝導性が高いことから、通常の鍋で調理した場合と比べ、素早く調理でき、味も良いという。また、海外の三大デザイン賞も受賞するなどデザイン面にも工夫を凝らす。今後も培った技術力を武器に、BtOC分野でも高付加価値製品を開発する。

## 当社の歴史



昭和36年に大阪市東淀川区で創業しました。平成4年に本社工場を大阪府高槻市に移転するとともに、放電加工用グラファイト電極の製造も開始しました。その後は取扱い製品を増やしつつ、国内の工場新設を進め、平成24年にはマレーシアのケダ州に海外工場を新設しました。

代表取締役 穴織 英一さん

大阪  
29

ISO 9001

### 主な事業内容

カーボングラファイト製品の  
製造・販売

### 主な取引先(納入先)

工業炉、鋳造、半導体製造  
装置部品、合金、ガラス各種  
メーカー

●住 所 〒567-0028

茨木市

畠田町6-20

●T E L 072-626-1120

●F A X 072-626-1140

●創 業 昭和36年10月

●設 立 昭和37年10月

●資本金 4,000万円

●従業員 52名